

周辺の活断層

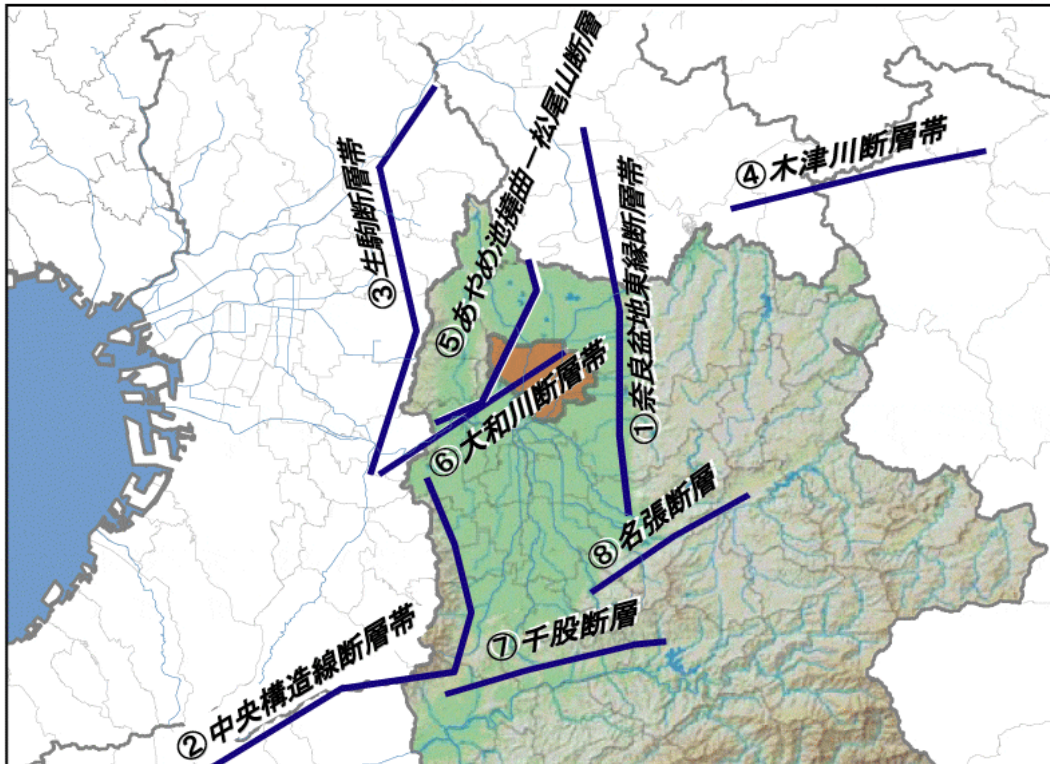
日本全国には、陸域で約2000の活断層が確認されています。

活断層とは、将来的に活動すると推定されている断層のことです。

地震は断層が活動して岩盤がずれるときに生じるものですから、活断層では将来も地震が繰り返し発生すると推定されます。

大和郡山市周辺には、主に次の活断層、または断層帯があると考えられており、これら活断層を震源とする地震が発生した場合、市域に大きな影響を与えます。

大和郡山市周辺の主な活断層



想定断層	断層長さ (km)	想定 (マグニチュード)	大和郡山市における予想 震度(％：震度別面積比)
①奈良盆地東縁断層帯	35	7.5	7 (38.8)、6強 (61.2)
②中央構造線断層帯	74	8.0	6強 (100)
③生駒断層帯	38	7.5	7 (13.7)、6強 (86.3)
④木津川断層帯	31	7.3	6強(81.0)、6弱(19.0)
⑤あやめ池撓曲－松尾山断層	20	7.0	7 (10.9)、6強 (89.1)
⑥大和川断層帯	22	7.1	7 (19.9)、6強 (80.1)
⑦千股断層	22	7.1	6強(60.0)、6弱(40.0)
⑧名張断層	18	6.9	6強(63.2)、6弱(36.8)

大和郡山市に最も大きな影響を与えると考えられる地震は、奈良盆地東縁断層帯によるもので、最悪の条件下でこの地震が発生した場合、全域が震度6強以上、地盤条件の悪いところ(面積的には市域の4割弱程度)で震度7の揺れが生じ、死傷者は1,700人程度、負傷者は30,000人程度に達すること等が予想されています。